



石原富子 議員
(開白会)

問 子どもたちに安心な街づくりを

各学校で通学路の安全点検を行っているが、その結果を持ち寄り交通面と不審者対策の両面で役立つ全市内の安全マップを作っているかどうか。また「子供110番の家」と子どもたちの交流を促進することで、より安心安全な白岡市が構築できると考えるが、いかがか。

答 学校・地域と連携しさらなる安全を

各学校の安全教育主任で市内全域の情報を共有し、行政区・関係機関の現有情報を集約した安全マップを作成する。110番の家については、駆け込み体験やマップ上での位置づけ、お礼の手紙をお届けすることなどを通して、交流を深めていきたい。

問 早急に公衆トイレの整備を

今やおもてなしの基本である公衆トイレの条件は、明るく清潔が必須であるが現状はそうでない場合が多い。また新白岡駅東口のトイレは老朽化が激しく使いづらい。市外からの来訪者や高校生も多く利用するので多機能に整備を望む声が高い。今後の整備計画を伺う。

答 快適に利用できるような整備を進めていく

今後、既存の公衆トイレの更新時期にあわせてバリアフリー化を図っていく。また、限られた予算の範囲内ではあるが、高齢者や障がい者をはじめ、利用者の皆様が安全で少しでも快適に御利用いただけるよう、清掃の回数を増やすなど、管理や整備を進めていく。



関口昌男 議員
(日本共産党)

問 教育行政に関する諸課題への対応は

文部省は、教員勤務実態調査を発表したが、白岡ではどのようにその実態把握をしているのか。また、教員の勤務時間の削減対策について、どのように考えているか。さらに、学校給食の問題について、無料化の動きがあるが白岡ではどのように取り組むのか。

答 国などの動きを注視し、適正に対応する

勤務時間の把握については、重要な課題であり、出退勤記録により勤務実態の把握に努めている。勤務時間については、事務の削減など現在の取組に加え、今後も具体的な取組を進めていく。給食費の完全無料化の実施はむずかしいが先進自治体を注視していく。

問 白岡中学校周辺地域の土地利用は

白岡中学校周辺地域の都市的土地利用の進め方についてはさまざまな課題がある。まず、第5次総合振興計画との整合性をどのように取るのか。また、関係者への周知や商店街との整合性、営農希望者への対応などがある。市としてこれらにどのように取り組むのか。

答 調和のとれた都市的土地利用を推進する

人やモノが集まる都市機能を集中させ、にぎわいの創出を目指す。新たな権利者組織を立ち上げ、関係者に十分理解いただけるよう説明する。市内の商店街などの関係者に対し丁寧に説明する。営農希望者へは代替地の調整とあわせ農地集積利用についても検討する。



市内中学校